

松本に太陽光発電を

ソーシャル事業所にパネル設置でPR エネルギー

太陽光発電推進のソーシャルエネルギー(片瀬開社長、松本市鎌田)はこのほど、同社が取り組む「おひさまO円システム」で、初めて松本市内の事業所に太陽光パネルを設置した。今春以降、市民出資のファンド(基金)をつくり、企業対象にパネルを設置する「松本ソーラーベルト構想」をスタートする計画で、「構想のシンボリックな場所にしたい」という。



国道19号沿いの村山自動車ボデー工場の事務所屋根に設置した太陽光パネル

(浜秋彦)

設置したのは松本市双葉の村山自動車ボデー工場の事務所屋根。パネルを14枚取り付け、3器相当の発電量を確保。事務所のエアコン、冷蔵庫、電灯、パソコンなどの電力を賄うという。

村山聡代表(44)は「取り付けたのは、片瀬さんの理念に共感した以外にない。ここは国道19号沿いで目立つので、広告看板の設置など、できることは協力したい」と話す。

「おひさまO円システム」は、自然エネルギー発電・省エネ事業

の「おひさま進歩エネルギー」(飯田市)が事業展開。ソーシャル社が昨年10月に業務提携した。市民の出資金を元にした基金で、太陽光パネルを初期費用無料で設置。自然エネルギーの活用推進を目指している。

今回は、おひさま社が昨秋から募集した出資金の中から「松本O円」の10件で、村山自動車以外はすべて個人住宅。3月中に残りの取り付けを完了したいとしている。

その後、電力の全量買い取り制度での買い取り価格などが判明した時点で、ソーシャル社独自の基金をつくり、企業対象の「松本ソーラーベルト構想」を本格化したい考えだ。

片瀬社長は「起点となるようないい場所に設置できた。今後は行政に協力を呼び掛けながら事業展開したい」と話した。

新入会員が意見交換

松本商議所初の交流会

松本商工会議所は9日、3年以内に入会した会員対象の初の交流職員が商議所全般の活動を、約30社が参加して松本市中央1の松本商工会館で開いた。

同商議所会員サービス委員会の浅川雅史委員長が、「この機会にビジネスチャンスをつくり、商議所に



PRタイムで自社の業務内容や強みなどを説明する参加者

美容室ラシーク(同市旭)の鈴木博之代表が限られていて交流が